

千鳥福祉健康講座「パタカラ講習会」

～たくさんの方々にお出かけいただき、有難うございました。～

『地域における施設の拠点機能に着目した事業者支援事業』の補助金を島根県から頂戴し、平成21年2月24日持田公民館で、秋広先生（パタカラの考案者）をお招きし、パタカラ健康講座を開催いたしました。

地域の方・歯科・学校関係から70名近い数多くの方にお集まり頂きました。「直らないとあきらめてはいけません。パタカラは口筋筋を鍛えると同時にその刺激は右脳前頭葉に至ります。右脳前頭葉が刺激されることによって必ず機能は回復します」という専門的で熱いお話に皆さん納得



でした。会場狭き状態で開催する事ができ、喜びを感じると共に、皆様の関心度の広がりを感じることができました。

地域の方の健康増進が図れる事を願い、今後も定期的に講習会を開催して行こうと考えております。

島根県共同募金会より

島根県共同募金会の『緊急支援配分事業』により、地域活動支援センターで耕運機を購入させていただく事ができました。この耕運機により農園芸作業に従事される利用者の方への負担軽減に繋がると共に生産性にも結びつき、利用者の方の仕事へのやる気ややりがいや喜びにつながりました。皆様の募金に感謝いたします。ありがとうございました。



ひと回メソ

かけがえのないものってなんだろう ～信頼関係かな～



(写真提供：多久和宏朋様)

平成20年度苦情受付

本年度苦情は2件でした。今後もサービスの向上に、努めてまいります。



千鳥福祉サマーフェスタ2009

●今年の夏祭りは7月19日(日) 16:00～21:00に行います。

オープニングには大井町ホーランエンヤからご協力をいただきます。
今年の司会は、BSS『土曜日の生タマゴ』のキャスター丸山聡美さんです。
皆さんでぜひお出かけください。

●ご協力をお願い (24-8820までご一報ください)

- ①暑い中ですが、ボランティアを募集しています。
- ②バザーの品物のご提供をお願いしています。ご家庭に不用品がありましたらご一報ください。頂きに参ります。(古着と賞味期限のあるもの以外は何でも承ります)

Leaving Care News

-No.110-

〒690-0814 松江市東持田町1415
社会福祉法人千鳥福祉会
代表(TEL 24-8820 FAX 24-8825)
障害者支援施設 持田寮
就労移行支援事業所 ワークセンターフレンド
多機能型事業所 L.C.C.ういんぐ
共同生活援助・介護事業所
千鳥福祉会ケアセンター大空

2009.5.1

新しい年度を迎えるにあたって

千鳥福祉会理事長 山本昌子

萌黄色の山々もあつという間に若葉色となり、せきたたれるような時間の速さを危機感と共に感じるこのごろです。それでも、時折雨の日があれば一層美しく、四季がある日本に生まれたことを感謝せずにはいられません。

この春、千鳥福祉会はすべての事業が自立支援法に移行しました。各事業で精一杯の工夫、膨大な事務量をこなした分、利用していただく方に「利」があり移行してよかったねといっただけのように思わなければと思っています。

「暮らしの場も働く場も地域で」、つまり「人としての尊厳を大切に、社会的、文化的、経済的活動に参加の機会を実現する努力を続ける」ということは、法人設立以来の一貫した方針です。そんな「ノーマライゼーション実現」の理念を掲げて法人が設立されてから、そろそろ20年近い年月が経過します。それは方針を掲げて努力することと、どんどん変わる環境の

中でそれが実現できることのギャップの大きさをしみじみ感じて過ごした月日でもあります。

また、昨年より世界的な経済恐慌という大きなクライシスに見舞われ、国民みんなが暮らしの基盤を揺るがされることになりました。そんな中で、ハンディキャップがある方の自立と社会参加を模索しながら、次の福祉の進めようを見つけなければなりません。「難しいことは行政に任せて」ではなく、ともに過ごす職員にとっても、福祉に力を貸せてくださるパートナーの皆さんにとっても、一度しかない大切な人生ですから、この大きな課題を共有し、いい結果が出るように工夫と努力を重ねたいと強く感じる次第です。

まだまだご心配をおかけすることと思いますが、今年度もどうかよろしく願いいたします。

居宅介護等事業所千鳥福祉会ケアセンター大空より

ケアセンター大空職員一同元気に新年度を迎えました。そして、今年度ヘルパー数40名を達成しました。土曜日、日曜日はフル運転で皆さんの社会参加を実現しています。

松江市は開府400年の行事を盛んに行っています。利用者さんの行事参加のチャンスも幅広く提供できうれし限りです。

4月4日はあいにくの雨でしたが、武者行列という大きな行事に参加しました。担当者の方、そして観に来てくださった方々、武装した利用者さんやヘルパーを雨の中最後まで応援

してくださりありがとうございました。一般の方々と一緒にやり遂げることができ、本当に貴重な経験でしたし、利用者さんも大きな自信になったと思います。

「一期一会」皆様に満足いただき、また一緒に出かけたい、また家に来てほしいと言ってくれるヘルパーになれる様一層努力していきます。そして、利用者さんが生き生きと安定した生活を地域で送ることができるように努めます。

引き続きご指導、ご協力いただきます様よろしく願いいたします。



(八束町 追分久美子様提供)

障害者支援施設「持田寮」より

四月より新事業体系に移行し、持田寮は日中、生活介護事業と生活訓練事業を行います。

「持田寮生活介護事業」は、ほかし作業、プレ作業（箸入れやタオルたたみ練習等）、「リサイクル班（紙資源のシュレッダー）」、リハビリの4班に分かれて活動します。活動や職員体制も変わり、新たな刺激の中、楽しくもあり、あわただしくもある日々を過ごしています。それぞれの活動が少人数で、落ち着いた取り組みになりました。中でも新たに始めたプレ班では、個別練習が可能になり、出来ることが増えたり落ち着いて時間一杯活動に参加できるようになった方がいらっやいます。その分利用者さんの笑顔が増えたように感じます。まだ課題もあり、クリアしなければならぬ事も多々ありますが、職員の自己満足に終わらず、その方らしい笑顔が増えるよう支援に努めていきたいと思っています。

もう一つ、「持田寮生活訓練」がこの4月よりスタートしました。

新築で気持ちの良い空気の中で、かつて取り組んだこともある[SST]の活動を取り入れました。



SSTでは、人と関わって生活していく事がもっとすなりと気楽に出来るように、利用者さんと一緒に課題を決めて練習をします。地域での生活や自立への希望や日々の気持ちを大切に、必要とされる支援の提供に努めていきます。多くの方が興味を持ち、参加したいと言っていたり、様々な活動となるよう工夫も加えながら進めていこうと思ひます。職員も新鮮な気持ちで活動を行っています。見学も大歓迎ですので気軽にお声をかけて下さい。



※SST（ソーシャル・スキル・トレーニング＝社会生活技能訓練）人付き合いの達人を目指しましょう！



■訓練棟をリニューアルしました。

- 1階：L.C.C.ういんぐ作業場
- 2階：持田寮生活訓練など

就労移行支援事業所「ワークセンターフレンド」より

就労移行支援事業所として、2年目に入りました。作業訓練（クリーニング作業）、企業実習、就労に繋がる関係機関の実習を経て就労された方が2名、新たな生活へのスタート地点に立たれました。平易な日々だけではないと思ひますが、自信と誇り、そしてその先への希望を持って自身の人生を創ってほしいと願っています。

フレンドは、就労定着支援を始め、いつでも、どこにいても、提供できる体制を整えます。そして、今年度も企業実習を継続する中で、企業、就労関係機関との連携をさらに進め、新たな「働く場」を開拓します。

又、施設内クリーニング作業では、利用者さんと一緒に売上高、経費額に一喜一憂し共に働いてきました。しかし、昨年7月頃から燃料費（灯油）が高騰、経済不況による受注量の減少が目立ち、目標工賃に達しない月が続きました。日々経費節減と作業の効率化を努力してきましたが、結果的に昨年度の平均工賃支給額1万5千円弱にとどまってしまうました。ここにきてようやく落ちついてきたような気がします？が、今年

度も、安定的な仕事量の確保、作業の効率化、経費節減等を実施し、利用者さんへの工賃倍増を職員一同成すべきことと考え、努力していきたいと思ひています。



多機能型事業所「L.C.C.ういんぐ」より

■ういんぐ生活介護事業

今年度から持田寮が新事業体系に移行した事により、法人内に2つの『生活介護事業』が確立する事となりました。法人内同事業ではありますが、双方の事業所のサービス内容の大別を機能や目的で分け、ニーズ混在のサービス提供ではなくニーズに合ったサービスが提供できるよう仕組み改造を図ったところであります。

ういんぐの『生活介護事業』においては、『はたらく』という要素を大切にすることで、作業内容としては、生産により収入が生じ、少なからず精度やノルマが要求される作業種目を素材としてサービス提供すると共に利用者の方の主体性の助長を図ってきたいと考えております。



■ういんぐ就労継続B型支援事業

就労継続B型支援事業において、前年度は経済不況の流れが当事業所にも大きく影響した一年となりました。作業種目・



作業量・作業単価の激減により、結果として作業工賃が充分支給できず、利用者の方への満足感につなげる事ができなかったことを心苦しく思っております。

企業の方で受注作業を頂くことを安心感としてきた時代は終わったと切に感じており、今年度は事業所独自の商品開発を目指し、安定した工賃支給ができるよう努める中で、利用者の方の満足感に繋げていきたいと考えております。

■地域活動支援センター

平日の作業・レクリエーション活動はもとより、土曜日の余暇活動については、利用者の様々な要望を踏まえ、『楽しむ』・『感じる』・『学ぶ』という要素が提供できるメニューを企画し、利用者の方の満足感に繋げていこうと考えております。



共同生活援助・介護事業より

*「かのん」開設！

11月の「六花」開設に続き、4月から10件目のホーム「かのん」が誕生しました。JAくまびき川津支店の近くの閑静な住宅街の一角にあります。女性だけのかわいらしいホームとなりました。立派なお庭の風情や広い和室に心も和み、新メンバーも毎日仲良くいきいきと過ごされております。

また、ご近所の方々にも親切なお声を掛けていただき、とてもうれしく思っております。何とか、地域の方にご迷惑の掛からぬよう、少しでもお役に立てるような存在でありたいと思ひます。



*利用される方の感想

- ☺ 部屋があ、広くてえ、気に入ってるよ。うん！
- ☺ えとこに来られて楽しわ。仲良いもんばっかであわ。草取りがんば一けん。

- ☺ 部屋が大きくていい。(お米とぎが上手でお母さんと呼ばれてます)
- ☺ N子お母さんがいるからいいわ。当番でお風呂洗い、頑張ってみーかな。

*「中尾アパート」改築！

「中尾アパート」は、補助金を頂戴し年明けから着工、4月に生まれ変わりました。

きれいになった、音声の出るお風呂は、特に入居者の皆さんがお気に入り、毎晩お風呂が楽しみになりました。(お風呂が億劫だったOさんも、問題解消です！)

また、狭さを忘れさせるほどの堂々としたシステムキッチン、とても使い勝手がよく、うきうきして料理ができちゃいます。(何てたって中島世話さんの笑顔がうれしい！)

